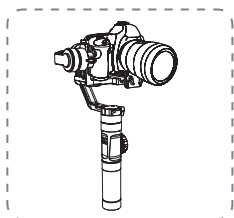
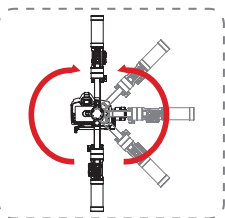


倒立撮影モードの操作



正面撮影モード



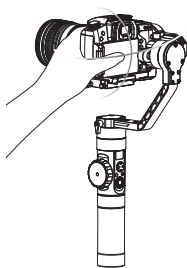
倒立撮影モード

倒立撮影モードを使用する前に、スタビライザーのバランス調整を行う必要があります。倒立撮影モードではハンドルを垂直に保ち、ハンドルが回転しないように保持してください(図を参照)。

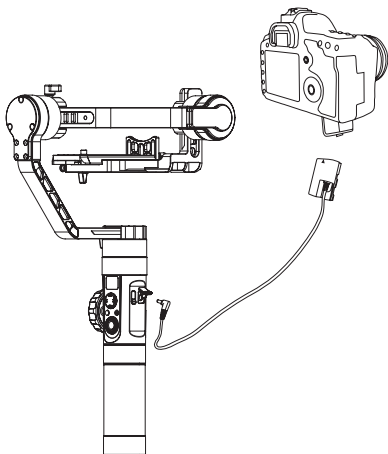
- 💡 ヒント:倒立撮影モードが上手く動作しない場合、カメラの大きさやバランスに原因がある可能性があります。一部のカメラは倒立撮影モードの使用時に、まず倒立状態を設置してからバランス調整を行う必要があります。

手動による位置決め

パンフォローモードとロックモードでは、特定の角度に手動でカメラを回転させ、手を放すと、カメラの位置が固定されます。パンフォローモードでは、チルト軸の角度を手動で調整できます。ロックモードでは、パン軸とチルト軸の角度を手動で調整できます。



DC 8.0 V 電源出力コネクターの使用法



スタビライザーの側面にある DC 8.0 V 電源出力コネクターは、DC コネクター DR-E6 (別売) を使用して、キャノン 5D カメラの充電に使用できます。

5D3/5D4 カメラの充電:

電源オン:

1. まず、DC 8.0V 電源出力コネクターにケーブルの電源入力端を接続し、ケーブルの他端をカメラに接続します。
2. スタビライザーにカメラを取り付け、スタビライザーの電源を入れてからカメラを起動します。

電源オフ:

まずカメラの電源を切ってから、スタビライザーからコネクターを抜きます。

5D2 などカメラの充電:

電源オン:

1. スタビライザーを起動し、[Mode] ボタンを長押しして待機モードにします。
2. DC 8.0V 電源出力コネクタにケーブルの電源入力端を接続し、ケーブルの他端をカメラに接続します。
3. スタビライザーにカメラを取り付け、スタビライザーのバランスを調整します。
4. カメラの電源を入れ、[Mode] ボタンを長押ししてスタビライザーを起動します。

電源オフ:

まずカメラの電源を切ってから、スタビライザーからコネクタを抜きます。

- ▲ 1. 不具合を避けるために、純正のキャノン DR-E6 DC 電源コネクタを推奨し、マニュアルの指示に従ってください。
- 2. 必ず指示の通りにカメラの電源をオンオフしてください。さもないと、カメラが起動しない恐れがあります。

アプリのダウンロード



ZHIYUN の公式サイト: www.zhiyun-tech.com からアプリをダウンロードするか、左側の QR コードをスキャンして「ZY Play」をダウンロードしてください (Android 5.0 以降と iOS 9.0 以降に対応)。iOS または Android のユーザーの方は、アプリストアで「ZY Play」を検索するとダウンロードできます。

ZHIYUN アプリは定期的に更新されていますので、今すぐチェックしてさらなる機能をお試しください。

スタビライザーとスマートフォンの接続

1. スタビライザーの電源を入れ、スマートフォンの Bluetooth を有効にしてください。
2. 「ZY Play」アプリを開き、「デバイスを接続してください」をクリックします。接続したいスタビライザーを選択します。

主な機能の説明

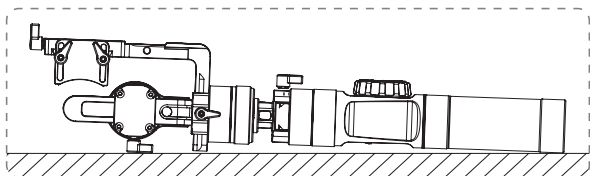


スタビライザーのキャリブレーションが必要な場合は？

正常な動作を確保すべく、必要に応じてスタビライザーをキャリブレーションしてください。

現象	対応方法
<ul style="list-style-type: none"> a) スタビライザーの起動後、カメラのチルト角度と水平面に偏差がある。 b) スタビライザーの起動後、カメラのロール角度と水平面に偏差がある。 c) 静止状態で、水平方向に小さな角度の修正が頻繁に行われる。 	<p>スタビライザーの初期化</p>
<ul style="list-style-type: none"> a) スタビライザーを起動した後も水平位置からやや逸脱している。 b) スタビライザーを長期間使用しなかった場合。 c) 動作環境間の温度差が大きすぎる場合。 	<p>六面キャリブレーションの実施</p>
<p>スタビライザーの初期化と六面キャリブレーションを行った後も、スタビライザーのチルト角度またはロール角度と水平面に偏差がある。</p>	<p>モーター出力の微調整</p>

初期化方法



1. 正しくバッテリーを取り付ける。
2. 手でカメラのクイックリリースプレートを支えながら、電源ボタンを長押ししてスタビライザーを起動する。この時モーターが作動するので、カメラのクイックリリースプレートをしっかり掴んで操作ジョイスティックを長押しすると、スタビライザーが待機状態に入る。
3. そのままスタビライザーを静止状態に保つ。約30秒間待つとスタビライザーが自動的に初期化を完了する。

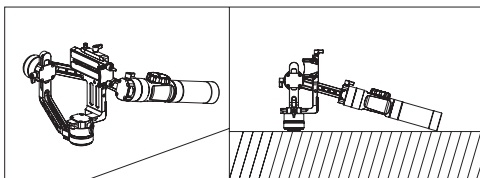
▲ 初期化後に再び角度の偏差が現れた場合は、この手順に従ってもう一度初期化を行ってください。

六面キャリブレーション

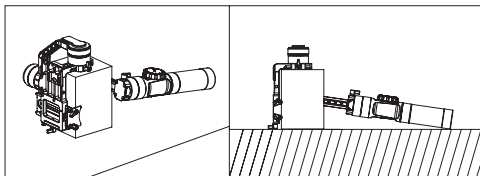
六面キャリブレーション

1. スタビライザーを起動して待機状態に入った後、「Menu」キーをクリックしてから、コントロールホイールで「calibration」を選択、右選択キーをクリックして確定する。
2. 以下の図面を参考にして、画面の指示に従ってステップごとにキャリブレーションを行なう。完了後、任意のキーを押してキャリブレーションメニューを閉じる。

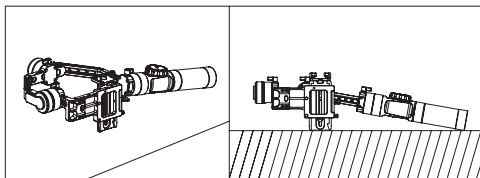
ステップ 1



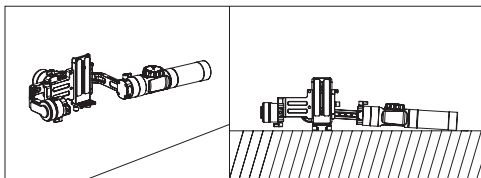
ステップ 2



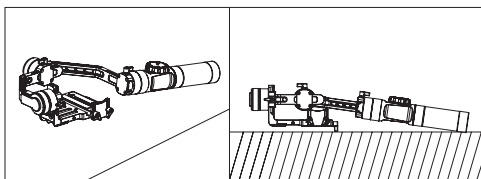
ステップ 3



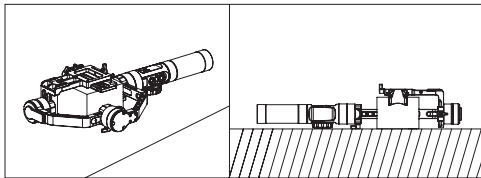
ステップ 4



ステップ 5



ステップ 6



アプリを通じた六面キャリブレーション

スタビライザーを「ZY Play」に接続する。「キャリブレーション」に進み、アプリの指示に従って、六面キャリブレーションを終了する。

- 💡 カメラのクイックリリースプレートの6つの面を意識して、それぞれが水平面に垂直になるように操作すると簡単に行なうことができます。

モーターの微調整

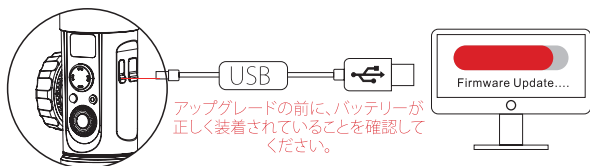
スタビライザーによるモーターの微調整：

スタビライザーを起動して待機状態に入った後、メ
「Menu」キーをクリックしてから、コントロールホイ
ールで「angle」を選択、右選択キーをクリックして
確定する。微調整設定項目で、実際の必要に合わせて
チルト軸とロール軸の微調整数値を設定する。

アプリによるモーターの微調整：

スタビライザーを「ZY Play」に接続する。「スタビラ
イザー設定」に進み、実際のニーズに合わせて、チ
ルト軸とロール軸の角度の値を調整する。

ファームウェアのアップグレード



マイクロ USB データケーブルを使用して、スタビライザーの USB ポートとパソコンを接続し、スタビライザーのファームウェアのアップグレードとキャリブレーションを行います。

1. ZHIYUN 公式サイトを開く：www.zhiyun-tech.com。ウェブサイト上の「ソフトウェアのダウンロード」をクリックして、ドライバーとご利用のスタビライザー型番に対応する最新ファームウェアをダウンロードする (MacOS、Window10 の場合は USB ドライバーのインストールは不要です)。
2. USB ケーブルでスタビライザーとパソコンを接続し、スタビライザーを起動して、ダウンロード済みのドライバーをインストールする。
3. スタビライザーを起動後、MODE ボタンを長押しして待機状態に入る。
4. ダウンロード済みのアップグレード校正ツール「Zhiyun Gimbal Tools」を起動して、ファームウェアアップグレード操作ガイドに従ってファームウェアのアップグレードを行なう。